

記者席ノート

◇…大沼穂穂参院議員(眞選挙区)の支援者でつくる「大沼みずほと地域を語る会」(岡崎弥平治会長)の総会が16日、山形市の山形グランドホテルで開かれた。大沼氏は「もっと地方発の議員の声がすぐわれる仕組みを国政の中で構築していかねばならない」と述べた。写真。

大沼氏「地方の声、もっと反映させる」

大沼氏は、衆参合わせ選挙区から5人しか国会議員を選出できない本県と、大都市を比較し、「東京など都市部選出の議員の声が政策に盛り込まれていると感じる。大都市に食料や水、人材を提供している地方の声がもっと反映されるようにしたい」と語った。

自民の宏池会とともに活動する松山政司参院議員(福岡県選挙区)が来賓として出席したが、地元・九州地方で発生した地震への対応で、冒頭のあいさつを終えると、会場を離れた。夏の参院選で眞選挙区に出馬する自民新人の月野薫氏も出席し、大沼氏は集まった約130人を前に「相手になる月野さん。JAにいた経験を生かし即戦力になれる人」と紹介した。

